

環境活動レポート

活動期間：令和元年11月1日～令和2年10月31日

発行日：令和3年8月6日

有限会社オフィスブレイン

1. 事業所名及び代表者氏名

有限会社オフィスブレイン 代表取締役 佐々木 厚史

2. 所在地

札幌市中央区北二条東 3 丁目 2 札幌セントラルビル 2 階



3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

佐々木 裕介

電話：011-207-2522

FAX：011-207-2523

HP：<http://www.sonpo.ne.jp/agent/office-brain/>

Mail：brain-as☆cameo.plala.or.jp

(メールの際は☆を@に変換してお送り下さい)

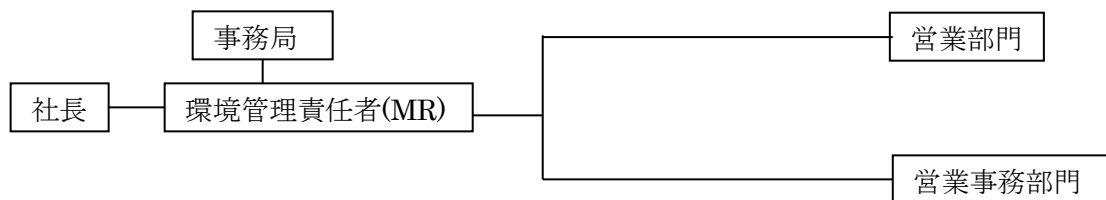
4. 事業内容の概要

損害保険・生命保険代理業

5. 事業の規模(売上高、従業員数、事業所の延べ床面積等)

事業規模	単位	令和元年度
年間売上	千円	62,900
従業員	人	7
事業所面積	m ²	111.9

6. 実施体制図



構成要素	役割、責任及び権限
代表者	≪社長≫ 会社を代表し、会社業務の全ての執行を統括する 1. EA21環境マネジメントシステムの実施及び管理に不可欠な資源の提供、資源には、人的資源及び専門的な技能、技術並びに資金を含む 2. 環境方針の作成 3. 環境管理責任者の任命 4. 全体の評価と見直しの実施
環境管理責任者(MR)	≪佐々木祐介≫ 1. EA21 に従った環境マネジメントシステムの要求事項の確立、実施、維持 2. 代表者(社長)への実績報告を含む見直しのための報告 3. EA21環境マネジメントシステムの運用実施 4. 環境活動レポートの作成責任
営業事務部門	1. 環境管理責任者のサポート 2. 環境管理責任者の指示による文書・記録の作成 3. 文書・記録の管理
営業部門	1. EA21 環境マネジメントシステムの運用実施 2. 環境管理責任者の指示による文書・記録の作成

7. 環境方針

<環境理念>

当社は保険代理店としてこれまでお客様ひとりひとりへのライフプランに応じた補償をご提案してまいりました。そして保険のご提案をする為に紙という媒体を数多く消費してきております。

しかし現在の環境汚染、地球温暖化はこの紙の原料となる森林伐採や廃棄物の不法投棄などが問題の引き金となっており、ひいては地球全体の健全な都市機能、環境のバランスを崩してきております。

今後の世界規模での環境への負担軽減のためにも当社は全社一丸となって自主的・且つ積極的に環境保全活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ① 二酸化炭素排出量の軽減を目指し消費電力の削減
 - ② 自動車燃料の削減
 - ③ 廃棄物の削減、資源の有効再利用化
 - ④ 環境配慮型商品開発への啓蒙・販売促進
 - ⑤ 地域環境活動への積極的参加
 - ⑥ グリーン購入方適合商品の購入
2. 環境関連法規制や法令規定を遵守します。
3. 環境方針は従業員に周知するとともに、社外の求めに応じ開示を行います。

制定日：2009年11月1日
改定日：2011年11月1日
有限会社オフィスブレイン
代表取締役 佐々木 厚史

8. 環境目標

1) 今年度の目標とその実績

北海道電力二酸化炭素排出係数：0.678kg-CO₂/kwh(平成 25 年度)

当社の年間総二酸化炭素排出量：20,627.4kg-CO₂(令和元年度)

環境目標項目	環境目標	実績
顧客向けリスクマネジメントセミナー開催	30 回	14 回
地域環境活動への参加	4 回	0 回

2) 中期目標及び次年度の目標

環境目標	平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
顧客向けリスクマネジメントセミナー開催	30 回	30 回	20 回	30 回
地域環境活動への参加	4 回	4 回	4 回	4 回

3) 環境パフォーマンスの推移

項目	令和 2 年度	令和 1 年度	平成 30 年度	平成 29 年度
電力使用量(kWh)	7,470.2	7,119.2	6,395.7	6,276.2
ガソリン使用量(ℓ)	6,708	6,938	7,867	10,996

9. 環境活動計画と取組結果及びその評価並びに次年度以降の取組

1) 顧客向けリスクマネジメントセミナーの開催

以下の研修やセミナー(オンライン含む)を実施しました。

- ・自然災害対応のためのBCP
- ・防災の避難タイムライン
- ・交通安全などでの事故防止
- ・新型コロナウイルス感染症対策での労災関連について

社会状況の変化からリスク対応への関心が高まってきています。しかし、本年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、対面式でのセミナー開催が難しい状況で、目標を達成することができませんでした。また、営業訪問の頻度も減り、顧客へのセミナー開催案内も直接実施することが難しくなりました。一方、SNSを用いた情報発信への取組や、IoTによる事故対応研修などの問合せもあることから、来年度以降はSNSでの情報発信や、オンラインによるセミナー開催などを進めていけるよう準備を行い、今後も継続してお客様の期待に応じていきます。

2) 地域環境活動への参加

本年度はコロナ過のため地域活動がすべて中止となりました。

次年度は、コロナ過が収まったのちには活動を復活していきます。

同様に消防団活動にも参加し地域防災活動に貢献しています。

ベルマーク活動も地域へ勧め、災害復興にも貢献していきます。

さらに保険商品のベルマークに関して個人客に説明して理解求めることとしています。商工会議所青年部主催のごみゼロの日活動に参加していますので、次年度も継続します。

3) 電力量削減

当社事業所の電力削減について、エコアクション2.1導入以降、削減が限界となりました。経年の変化もあまりなく、次年度以降も手順化した取組を日常管理とすることで、削減目標は設定していません。令和元年度は、前年度から5%増加しました。コロナ過により外回り営業の頻度が減少したためと業務量の増加で、社内での業務量の増加による作業時間が増え、電灯、冷暖房の稼働時間が増加したことが原因と考えられます。

また、資料印刷について、複写機を使用していたが、効率のよい印刷機を導入したことにより、資源およびエネルギーの節約になりました。

手順

- ・暖房は室内温度20℃を目安とする。使用していない会議室等は暖房をとめる。
- ・冷房は室内温度28℃を目安とする。使用していない会議室等は冷房をとめる。
- ・使用していない会議室、トイレの照明はきること。
- ・複写機、FAX、パソコンは待機時に省エネモードに設定する。
- ・長時間、席を離れる場合はパソコンをOFFすること。

について全員理解し、きちんと実施していました。今後も継続していきます。勤務時間による影響を受けますが、次年度も継続して手順を実施いたします。

4) 自動車燃料の削減

当社の社有車の燃料の削減について、エコアクション2.1導入以降、削減が限界となりました。全社有車のハイブリット化も終了し、次年度以降も手順化した取組を日常管理とすることで、削減目標は設定していません。令和元年度は、前年度から3%減少しました。コロナ過により外回り営業の頻度が減少したことと、外部への訪問による営業活動が減少したためと考えられます。

手順

- ・駐停車時のアイドリングストップ
- ・急発進・空ぶかしの抑制
- ・タイヤの空気圧の適正化を始めとする点検・整備の励行

これら手順は、全員理解し、きちんと実施していました。次年度も継続して手順を守って実施いたします。

5) 廃棄物削減

当社の廃棄物は一般事業系廃棄物とくに紙が主体となりますが、リサイクル処理をしています。削減についてエコアクション2.1導入から5年目で限界となりました。次年度以降も手順化した取組を日常管理とし目標設定は実施しません。産業廃棄物の排出はありません。次年度も以下の手順を継続して実施していきます

手順

- ・ミスコピー、ミスプリント等の用紙はメモ等に裏を利用すること。

- ・両面コピー、プリントが許容されるものは両面を使用すること。
 - ・新聞、雑誌等はリサイクル業者に委託すること。
 - ・機密文書は専門リサイクルシュレッダー業者に委託し、リサイクルになった。
 - ・廃棄物は分別し、リサイクルを優先し、焼却処分や埋立処分を避けること。
- について全員理解し、きちんと実施していた。今後も継続していきます。
次年度も同様の活動を継続していきます。

6) グリーン購入

グリーン購入はカタログ購入により、環境配慮商品の購入を実施し、次年度以降も継続します。グリーン購入の基準としてはエコラベル適合品及びグリーン購入法適合品であることとしています。次年度以降も継続します。

7) 水道使用量の管理について

テナント入居の為、各テナントの個別水道メーターがなく水道使用量について把握できないため、目標設定はしていません。ただし、流しっぱなしにしないなど無駄な使用をしないことを励行しており、次年度以降も継続します。

10. 環境関連法規への違反、訴訟等

環境関連法規制への違反や訴訟はありませんでした。また関係当局からの指摘もありませんでした。

順守すべき主な環境関連法規制等は、事業系一般廃棄物関連条例、フロン排出抑制法です。

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21が目指すところの環境に関する取り組みは社員全員が目指しており、今後もさらに努力していきたいと考えております。

コロナ過での営業方法やセミナー開催方法の変化が起こっており、それらに対応し、オンラインセミナーを実施できるよう対応を進めていきます。

環境目標は関連した目標を主体に展開し、環境負荷低減に係る項目は維持管理として継続します。ただし、エネルギー使用量については安定した推移となりましたので維持管理を継続します。次年度は出向者が1名戻ってくる予定ですので、その後の推移を見ながら目標管理については検討を進めていきます。

環境活動計画、環境経営システム、実施体制の変更はありません。

意識は行動を作り、行動は習慣を作る

習慣は人格を作り、人格は運命を作る

毎週、朝礼にて全員で標語唱和しておりますが言葉の意味を考えながら今後も努力していきます。